

2020年9月4日 第3334回例会

於：メルキユーールホテル横須賀『パリ』



<点鐘・開会> 12:30 岡田 会長

<斉唱> 「君が代」「奉仕の理想」

<唱和> 「四つのテスト」

<ゲスト紹介> *日本航空(株)代表取締役副社長 執行役員 清水 新一郎 様

*米山奨学生 蔡 尚 佑 様

*神奈川歯科大学附属病院 院務部部長 江口 浩道 様

<ビジター紹介> *三浦ロータリークラブ 鈴木康仁 様

<誕生月祝> *石田 重 藏 (S.28. 9. 2) *猿 丸 新 二 (S.46. 9. 6)

*北村 理和子 (S.24. 9. 8) *久保田 英 朗 (S.27. 9.11)

*兼城 毅 (S.49. 9.13) *菽生田 徹 (S.22. 9.14)

*加藤 元 章 (S.30. 9.14) *関口 太 郎 (S.36. 9.17)

*大野 忠 之 (S.34. 9.19) *平松 廣 司 (S.24. 9.21)

*小林 一 博 (S.48. 9.23) *長坂 利 広 (S.40. 9.29)

*岡 昌 憲 (S.19. 9.30) *前田 長 生 (S.26. 9.30) 各会員

<入会月祝> ・鈴木康仁 ・大野忠之 ・福島康人 ・土田匡明

・町田竜五 ・小山陽生

各会員

<会長報告> *新会員入会 Wosti Loknath 会員

*第1グループ三役会 報告

*RI日本事務局より

・ロータリーレートの変更について 9月1日より1ドル106円(現行105円)

*ガバナー事務所より

・2019-2020年度青少年交換派遣学生帰国報告会のご案内

(インターネットライブ配信) 2020年9月5日(土) 14:00~17:00

場所: Facebook上「2780Now」ページ上

・特殊切手「日本のロータリー100周年」の発行について

*米山奨学生 蔡君へ奨学金授与

<委員長報告> *雑誌委員会 濱田委員長より ロータリーの友9月号

*出席委員会 小平副委員長より 8月出席報告 8月分平均出席率 80.55%

	会員数	出席対象者数	出席数(ZOOM出席数)	欠席数	メイクアップ数	出席率
8月 7日	115名	106名	85名(7名)	21名	5名	84.91%
21日	115名	104名	79名(11名)	25名	2名	77.88%
28日	115名	104名	78名(9名)	26名	4名	78.85%

<幹事報告> *横須賀ロータリーアクトクラブ9月例会予定について

<出席報告> *出席委員会 小平副委員長より 9月4日の出席報告

会員数	出席対象者数	出席数(ZOOM出席数)	欠席数	メイクアップ数	出席率
116名	107名	71名(5名)	31名	6名	76.64%

<ニコニコ報告>

・三 役 日本航空株式会社 代表取締役副社長執行役員 清水新一郎様、本日の卓話よろしく
 願います。

・大石、猿丸、鈴木豊、小平、高橋(務)、福西、鈴木(乙)、中山、
 勝間、飯塚、澤田、鹿島、大竹、若麻績、松本(剛)、江沢、久保田、
 北村、齋藤(眞)、根岸、前田、藤村、波島、高橋(隆)、齋藤(眞) 各会員

日本航空株式会社 代表取締役副社長執行役員 清水新一郎様、本日の卓話楽しみにし

ています。

- ・佐久間 会員 米山奨学生 蔡さんようこそ。学業がよいよ忙しくなってきたようで頑張ってください。
- ・小佐野、鈴木 両会員 三浦RC 鈴木康仁様、お久しぶりです。ようこそお越し下さいました。
- ・飯塚、八木 両会員 本日ビジターの三浦RC鈴木康仁様、ようこそお越し下さいました。

横須賀RCの例会をお楽しみください。

- ・猿丸、北村、久保田、兼城、加藤 前田 各会員 誕生日祝いとして
- ・小山 鈴木 福島 各会員 入会月祝いとして
- ・鈴木 岡田、八巻、八木、立石、上林、
角井、澤田、山下、小保内、江沢 各会員

ロクナト会員、ご入会おめでとうございます。これからの活躍を楽しみにしています。

- ・Wosti Roknath 会員 よろしくお祈りします。
- ・岡田、鈴木、八巻、上林、福西、濱田、
小沢、瀬戸、飯塚、江沢、高橋、齋藤 各会員
鹿島会員、わが人生の連載お疲れ様でした。毎日楽しく拝読させて頂きました。第2弾はワインを傾けながらロータリークラブ会員に直接お話し頂きたいです。
- ・八木、小山、中村、立石、鷲尾、白井、
兼城、濱田、加藤、勝間、西村、齋藤 各会員
ヤチヨの鈴木孝博幹事、神奈川新聞の「三浦半島に生きる」掲載おめでとうございます。第二話は再来週水曜日楽しみです。次は自伝出版だ！
- ・岡田、田村、田中、川出、木村、長尾、齋藤、齋藤 各会員
安倍晋三総理、長い間の激務お疲れ様でした。これからは持病の治癒に専念してください。3回目はアリでしょうか？
- ・野坂 会員 何となく

<卓 話>

「航空業界の今後の展望について」

日本航空株式会社 代表取締役副社長 執行役員
清水 新一郎 様

皆さまこんにちは。ただいまご紹介にあずかりました日本航空(株)の清水新一郎です。この度は、横須賀ロータリークラブの第3334回例会にお招きいただきありがとうございます。大変光栄に存じます。実は、貴クラブと当社は同じ1951年に産声を上げております。これも何かのご縁かと存じます。私の経歴ですが、先ほどご紹介いただきましたが、1985年に入社し、日本航空(株)一筋で今日に至っております。この間、様々な困難があり、約10年前には経営破綻して、多くの方にご迷惑をお掛けいたしました。



その後、皆さまからの温かいご支援をいただきながら職員一同一生懸命努力をしてきました。そして、今、新型コロナウイルス感染症の影響により大きな困難を迎えております。時間を遡りますが、2019年に当社は京浜急行電鉄(株)と神奈川県との共同企画としてラッピング列車「行こう！秋の三浦半島」を行いました。

た。ご記憶にある方もいるかもしれませんが。当社として一番ありがたいのは羽田や成田に到着後更に飛行機を乗り継いで遠くに行き、関東近辺には良い所がたくさんあります。その魅力を最大限に生かそうとコラボレーションしたのが本企画です。個人的な話になりますが、子供が小さかった頃、能見台に住んでいました。当時、子供と一緒に電車に乗って横須賀まで来てカレーを食べたり、潜水艦をみたりして三浦半島を楽しんでいました。

本題に入ります。当社は国際線と少数の国内幹線からスタートしましたが、(株)日本エアシステム(JAS)と統合してから国内路線も大幅に増え、国際線と国内線の売上は、国内線が上回るまでに成長しました。昨年、各地でインバウンド需要の増加で盛り上がりましたが、その中でも旅客数の伸びに貢献したのが格安航空会社であるLCCです。インバウンド旅客のうち中国、韓国、台湾、香港など日本から4時間前後の都市からの観光客が約7割以上を占めますが、東京のみならず、直接地方都市にも乗り入れていました。当社を利用する方はビジネス客が多いですが、2月上旬以降、中国を皮切りに減便・運休が実施され、緊急事態宣言以降の旅客数は、概ね前年同期比1%となりました。外国人観光客等を再び呼び戻すためには、お互いの国同士で協議していく必要がありますが、政府はタイ、ベトナム、オーストラリア、ニュージーランド等との段階的な再開を目指しております。国内線ですが、緊急事態宣言以降は、概ね前年同期比5~10%程度となり、同宣言解除後の6月実績でようやく前年同期比20%超えの状況です。旅行業界は土産物屋、飲食店、タクシー会社、バス会社、宿泊施設等すそ野が広く、中には倒産や廃業を判断したというような残念なニュースが聞こえてくるなど厳しい状況です。GoToキャンペーンに対して賛否両論はありますが、これをきっかけに盛り返していきたいのが旅行業界の気持ちです。勿論、ウイルスが日本中に広がることは望んでおりません。因みに、同キャンペーンが実施される前に、沖縄県では「おきなわ彩発見」と題した県民向けの割引キャンペーンを独自に取り組んでいました。沖縄県は他府県からの観光客は多いのですが、これまで本島や離島間の県民の行き来は意外なほど少なかったようです。そのため、少しでも経済を立て直すとともに、県民が自分たちの魅力を感じて貰いたいことから企画されました。やはり、経済を立て直すためには人が動かなくてはならないと考えます。

次に貨物についてです。飛行機は人だけではなく、貨物も一緒に運んでいます。丁度、機体のおなかの部分に貨物を積んでいます。欠航の増加により一時的に農産物等の運送に支障が出ることもありました。旅客を乗せずにマスクなどの緊急性の高い医薬品・食料品等の運航を行うことから始まり徐々に増える貨物需要に対応することで概ね前年同期比50~60%程度で抑えることが出来ました。現在、旅客は入国が許可されても目的地で2週間以上隔離されることとなりますが、乗務員に対してだけは空港近くのホテルに滞在し、他所には行かないことなどを条件に2週間隔離しなくても良いことになっています。残念ながら、お客さまに対する条件緩和はまだ先になるかと思われま

す。次にコロナショック前後の世界の航空需要の変化についてです。国際航空運送協会(IATA)から示された予想ですが、2019年を100としてグラフ化しています。2016年から2019年までは格安航空会社の台頭もあり、順調に伸びていましたが、新型コロナウイルス感染症の影響により、2020年はかなりの落ち込みが予想されています。実際にはもっと落ち込むのではないかと思います。グラフでは、国内線は2022年、国際線は2024年に元に戻ると予想されておりますが、これももう少し時間がかかるのではないかと思います。今、働き方改革が謳われていますが、その中には出張も含まれます。実は、ビジネス事業と観光事業は密接に繋がっております。例えば、出張先で観光をされる方も多数いらっしゃいますし、戻られてから出張先での観光を同僚に話をして、そこに旅行に行こうと考える方もいます。働き方を変えていくことは大切なことですが、出張が減ってしまうことで良い循環が減ってしまう可能性があるのは寂しい限りです。

新型コロナウイルス感染症の影響により、世界では航空会社が相次いで経営破綻や国有化しました。航空会社は、各国のナショナルセキュリティにおいても寄与しています。飛行機は自国民が他国において不足の事態に巻き込まれたときの救援手段となりますし、物資を届ける使命も担っております。お客さまあってこそ航空会社は存続出来るのですが、同感染症の影響が長期化しますと、更に経営破綻する会社が増えることが懸念されます。世界の航空会社では生き残るためのコスト削減として人員削減の動きが本格化しておりますが、業界や国が一体となって難局を乗り切る必要があります。

当社ではコロナ禍において社員が出来ることを色々考えています。一例ですが、整備部門が中心となり医療従事者向けのフェイスシールドの作製、機内食の食材の寄贈、お子さま向けのマスクの作製、地方空港

の近くには農業を営んでいる方が多くおりますので、各種農作業の支援、自治体の事務作業支援やボランティア活動、空港内につくられたPCR検査場での誘導などの支援をしています。そして、今後当社が目指すべき方向性として、①財務体質の再構築、②安全・安心の向上、③事業構造の見直し、④社会課題への取り組み加速を掲げました。そして様々な施策を通じて年間600億円のコスト削減にも現在取り組んでいます。それらのコスト構造の改革や収益性の向上に取り組むことは勿論ですが、お客さまには安全・安心をお届けするためにも高度な清潔性を確保して参ります。また、国際旅客と国内旅客のバランスを維持しつつ、日本を支える地方の発展やCO₂の排出削減などの環境問題にも積極的に取り組んで参ります。

いずれにしてもこの難局を乗り越えるには皆が協力していく必要があります。来年には東京オリンピック・パラリンピックが開催されます。あるアンケート調査では、同感染症が終息した後に、一番訪れてみたい国に「日本」を挙げている外国が多数であるとのこと。是非、外国人観光客にも元気な日本に来て貰いたいと思います。羽田空港に隣接している三浦半島の元気を取り戻すべく、一緒に盛り上げていきましょう。ご清聴ありがとうございました。



JAPAN AIRLINES

<閉会・点鐘> 13:30 岡田 会長

週報担当 鷺尾 精一